

ミッション・価値・目標設定シート(MVTシート)

様式2-1(旧)

○基本情報

		記載日	平成29年9月29日
団体名	公益財団法人神戸いきいき勤労財団	所管局名	市民参画推進局
設立目的	市民、事業者と行政の連帯と協力のもとに、中高年齢者に最適な職種、事業の調査及び開発、勤労者を対象とする生涯教育事業の実施、中高年齢者の福祉の増進に関する事業並びに高齢者等の雇用の安定等に関する法律(昭和46年法律第68号)に基づくシルバー人材センターに関する事業等を行い、もって高齢社会における勤労者をはじめとする市民の福祉の向上と活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		

M

市が団体「求め」のミッション Mission

長期	勤労者福祉共済事業の運営、勤労者福祉施設の管理運営並びにシルバー人材センター事業を継続的、安定的に実施することにより、勤労者をはじめとする市民の「生涯現役人生の創造」に係る総合的支援を行い、もって市民福祉の向上と活力ある地域社会づくりに寄与する。
5年	<p>1 市内中小企業等の勤労者の福祉増進を図り、若者にとっても「働きたい」と思う職場づくりに寄与するため、勤労者福祉共済を安定的に運営する<指標:会員数></p> <p>2 高齢者に就業を通じた生きがいづくりを支援するとともに、高齢者の知恵や経験を若い世代への支援に活かすことが出来るよう、シルバー人材センター事業を推進する<指標:契約件数、契約金額、会員就業率></p> <p>3 中高年齢者をはじめ、勤労者など若い世代にとっても魅力ある生涯学習事業を展開し、生涯学習の場としての勤労会館・勤労市民センターの利用促進を図る<指標:定例講座受講率、定例講座受講者数、施設利用率、施設利用満足度></p> <p>4 勤労会館等を活用し、若者から中高年齢者まで幅広い世代を対象とした就業支援や仕事と結婚、子育ての両立を支援・啓発する生活設計支援事業の拡充・発展を図る<指標:資格取得支援講座開講数、就業支援セミナー開講数></p> <p>5 財団の有するノウハウを生かし、またNPOとの協働により、市民に対し、「生涯現役人生の創造」のための情報提供や相談業務を行う<指標:生涯いきいき情報センター相談件数、生きがい活動ステーション相談件数></p>
	<p>【2020ビジョン及び部門別計画等との関わり】 上記の事業を推進することにより、2020ビジョン素案「施策の基本的方向」に掲げる「①若者に魅力的なしごとづくり」「②若者を惹きつける魅力づくり」「③若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり」「④次世代の将来を約束できる環境づくり」に寄与する。</p>

V

市民「提供」の価値 Value

1	2	3	4	5
勤労者福祉共済の会員の意見を取り入れ、各年代のニーズに対応した福利厚生事業を実施することにより、市内中小企業等で働くことへの魅力の向上が期待される。 <ビジョン関連項目: ①、②、③>	シルバー人材センターの会員の拡大及び就業開拓を推進し、高齢者に就業機会の提供や、会員の就業を通じて地域社会への貢献が図られる。 <ビジョン関連項目: ③、④>	勤労者福祉施設の利便性及び施設において実施する事業の魅力や、サービスの向上が図られるとともに、市民の生涯学習の支援を受けられる。 <ビジョン関連項目: ②、③>	就業支援に係る各種の講座・セミナーを開講することにより、女性や若者を含めた幅広い世代の就業支援が得られる。 <ビジョン関連項目: ③、④>	「生涯いきいき情報センター」や「生きがい活動ステーション」の運営を通じて、広く市民を対象として就業相談、地域活動支援等を受けられる。 <ビジョン関連項目: ④>

T

事業目標 Target

A	B	C	D	E
会員アンケートや有志会員が事業提案を行う活動(ハッピーパック支援隊)を実施する。 <数値目標> ・会員数45,200人	「就業開拓・会員確保推進会議」の取組を進める。 <数値目標> ・契約件数42,900件 ・契約金額4,200百万円 ・会員就業率70%	利用者アンケートなどに基づく施設改修や時代の変化に即した講座事業の展開並びにサービスマナー向上運動を実施する。 <数値目標> ・定例講座受講率90% ・定例講座受講者数21,800人 ・施設利用率60% ・施設利用満足度75.0(NSI値)	就業に関する関係機関とも連携を図り、社会的要請に即した講座・セミナーを開催する。 <数値目標> ・資格取得支援講座開講数13講座 ・就業支援セミナー開講数6講座	財団のノウハウを活かしながらも、さらにNPO法人との連携を進め、相談事業の充実を図る。 <数値目標> ・生涯いきいき情報センター相談件数1,300件 ・生きがい活動ステーション相談件数1,500件

ミッション・価値・目標設定シート(MVTシート)

様式2-1(新)

○基本情報

		記載日	平成30年9月4日
団体名	公益財団法人神戸いきいき勤労財団	所管局名	市民参画推進局
設立目的	市民、事業者と行政の連帯と協力のもとに、中高年齢者に最適な職種、事業の調査及び開発、勤労者を対象とする生涯教育事業の実施、中高年齢者の福祉の増進に関する事業並びに高齢者等の雇用の安定等に関する法律(昭和46年法律第68号)に基づくシルバー人材センターに関する事業等を行い、もって高齢社会における勤労者をはじめとする市民の福祉の向上と活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		

M 市が団体に求めるミッション Mission

長期	勤労者福祉共済事業の運営、勤労者福祉施設の管理運営並びにシルバー人材センター事業を継続的、安定的に実施することにより、勤労者をはじめとする市民の「生涯現役人生の創造」に係る総合的支援を行い、もって市民福祉の向上と活力ある地域社会づくりに寄与する。
5年	<ol style="list-style-type: none"> 1 市内中小企業等の勤労者の福祉増進を図り、若者にとっても「働きたい」と思う職場づくりに寄与するため、勤労者福祉共済を安定的に運営する<指標:会員数> 2 高齢者に就業を通じた生きがいづくりを支援するとともに、高齢者の知恵や経験を若い世代への支援に活かすことが出来るよう、シルバー人材センター事業を推進する<指標:契約件数、契約金額、会員就業率> 3 中高年齢者をはじめ、勤労者など若い世代にとっても魅力ある生涯学習事業を展開し、生涯学習の場としての勤労会館・勤労市民センターの利用促進を図る<指標:定例講座受講率、定例講座受講者数、施設利用率、施設利用満足度> 4 勤労会館等を活用し、若者から中高年齢者まで幅広い世代を対象とした就業支援や仕事と結婚、子育ての両立を支援・啓発する生活設計支援事業の拡充・発展を図る<指標:資格取得支援講座開講数、就業支援セミナー開講数> 5 財団の有するノウハウを生かし、またNPOとの協働により、市民に対し、「生涯現役人生の創造」のための情報提供や相談業務を行う<指標:生涯いきいき情報センター相談件数、生きがい活動ステーション相談件数> <p>【2020ビジョン及び部門別計画等との関わり】 上記の事業を推進することにより、2020ビジョン素案「施策の基本的方向」に掲げる「①若者に魅力的なしごとづくり」「②若者を惹きつける魅力づくり」「③若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり」「④次世代の将来を約束できる環境づくり」に寄与する。</p>

V 市民に提供する価値 Value

1	勤労者福祉共済の会員の意見を取り入れ、各年代のニーズに対応した福利厚生事業を実施することにより、市内中小企業等で働くことへの魅力の向上が期待される。 <ビジョン 関連項目: ①、②、③>
2	シルバー人材センターの会員の拡大及び就業開拓を推進し、高齢者に就業機会の提供や、会員の就業を通じて地域社会への貢献が図られる。 <ビジョン関連項目: ③、④>
3	勤労者福祉施設の利便性及び施設において実施する事業の魅力や、サービスの向上が図られるとともに、市民の生涯学習の支援を受けられる。 <ビジョン関連項目: ②、③>
4	就業支援に係る各種の講座・セミナーを開講することにより、女性や若者を含めた幅広い世代の就業支援が得られる。 <ビジョン関連項目: ③、④>
5	「生涯いきいき情報センター」や「生きがい活動ステーション」の運営を通じて、広く市民を対象として就業相談、地域活動支援等を受けられる。 <ビジョン関連項目: ④>

T 事業目標 Target

A	会員アンケートや有志会員が事業提案を行う活動(ハッピーパック支援隊)を実施する。 <数値目標> ・会員数45,200人
B	「就業開拓・会員確保推進会議」の取組を進める。 <数値目標> ・契約件数42,900件 ・契約金額4,200百万円 ・会員就業率70%
C	利用者アンケートなどに基づく施設改修や時代の変化に即した講座事業の展開並びにサービスマナー向上運動を実施する。 <数値目標> ・定例講座受講率90% ・定例講座受講者数21,900人 ・施設利用率60% ・施設利用満足度75.0(NSI値)
D	就業に関する関係機関とも連携を図り、社会的要請に即した講座・セミナーを開催する。 <数値目標> ・資格取得支援講座開講数 13講座 ・就業支援セミナー開講数 6講座
E	財団のノウハウを活かしながらも、さらにNPO法人との連携を進め、相談事業の充実を図る。 <数値目標> ・生涯いきいき情報センター相談件数 1,300件 ・生きがい活動ステーション相談件数 1,500件

平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年9月4日
団体名	公益財団法人神戸いきいき勤労財団	所管局名	市民参画推進局

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 1)
H29事業目標	勤労者福祉共済会員数 45,200人		
H29実績評価	(実績)43,860人<達成率 97.0%> 平成29年度より、多様化する会員ニーズに効率的かつ機動的に対応していくため、神戸市が直接執行してきた慶弔給付、永年勤続褒賞の給付事業を含めた事業全体を神戸市から財団に移管し、財団の自主事業として運営した。 平成29年度は移管後の初年度として、チケット代金等のコンビニ収納の開始や電子会員証の導入などを実施し、会員確保に努めた。		評価
			S A B C
H30事業目標	勤労者福祉共済会員数 45,200人		
評価担当者	総務部長 安井 功		

事業No.	2-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 2)
H29事業目標	①シルバー人材センター契約件数 42,900件 ②シルバー人材センター契約金額 4,200百万円 ③シルバー人材センター会員就業率 70.0%		
H29実績評価	(実績①)43,488件<達成率 101.4%> (実績②)4,266百万円<達成率 101.6%> (実績③) 64.6%<達成率92.3%> シルバー人材センター事業により、高年齢者に就業を通じた生きがいづくりを支援するとともに、高年齢者の知恵や経験を若い世代への支援に活かすことに寄与した。 積極的な就業開拓及び会員確保に取り組んだ結果、会員数の増が契約件数の伸びに比して大きかったため、会員就業率は目標達成に至らなかったが、契約件数、契約金額ともに目標達成に至ったことから、事業運営において成果があったものと考ええる。		評価
			S A B C
H30事業目標	①契約件数 42,900件 ②契約金額 4,200百万円 ③会員就業率 70%		
評価担当者	総務部長 安井 功		

事業No.	3-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 3)
H29事業目標	①定例講座受講率 90% ②定例講座受講者数 21,850人 ③施設利用率 60% ④施設利用満足度 75.0(NSI値)		
H29実績評価	(実績①)84.9%<達成率 94.3%> (実績②)22,159人<達成率101.4%> (実績③)59.2%<達成率 98.7%> (実績④)75.8<達成率101.1%>		評価
	勤労会館等において、中高年齢者をはじめ、勤労者など若い世代にとっても魅力ある生涯学習事業を展開し、生涯学習の場としての利用促進に寄与した。 定例講座受講率と施設利用率は目標達成には至らなかったが、施設利用満足度については、毎年度アップしている。また、定例講座受講者数については、積極的な広報等に努めた結果、目標を達成することができ、事業運営において一定の成果があったものとする。		S A B C
H30事業目標	①定例講座受講率 90% ②定例講座受講者数 21,900人 ③施設利用率 60% ④施設利用満足度 75.0(NSI値) ※受講率: 募集人数に対する受講者数の割合。 ※数値目標: 第4次中期経営計画(平成28年度～平成32年度)による。		
評価担当者	総務部長 安井 功		

事業No.	4-D	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 4)
H29事業目標	①資格取得支援講座開講数 13講座 ②就業支援セミナー(就業支援講座)開講数 6講座		
H29実績評価	(実績①)13講座<達成率 100.0%> (実績②)6講座<達成率 100.0%>		評価
	勤労会館等において、若者から中高年齢者まで幅広い世代を対象とした就業支援や仕事と結婚、子育ての両立を支援・啓発する生活設計支援事業の拡充・発展に寄与した。 資格取得支援講座開講数については、就職・転職やキャリアアップに役立つ講座を開講し、就業支援セミナーについては、中高年齢者を対象とするものを含め、6講座開講し、幅広い世代を対象に就業への支援を行うことができたため、昨年度に続き、事業運営において成果があったものとする。		S A B C
H30事業目標	①資格取得支援講座開講数 13講座 ②就業支援セミナー(就業支援講座)開講数 6講座		
評価担当者	総務部長 安井 功		

事業No.	5-E	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 5)
H29事業目標	①生涯いきいき情報センター相談件数 1,300件 ②生きがい活動ステーション相談件数 1,500件		
H29実績評価	(実績①)1,374件<達成率 105.7%> (実績②)2,853件<達成率 190.2%>		評価
	財団の有するノウハウを生かし、またNPOとの協働により、情報提供や相談業務を行い、市民の「生涯現役人生の創造」に寄与した。 勤労会館に設置する生涯いきいき情報センター、六甲道勤労市民センターに設置する生きがい活動ステーションともに、相談しやすい「場」づくりや、来館者への積極的な情報提供を行ったことにより、目標値を上回る実績となり、事業運営において成果があったものとする。		S A B C
H30事業目標	①生涯いきいき情報センター相談件数 1,300件 ②生きがい活動ステーション相談件数 1,500件		
評価担当者	総務部長 安井 功		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年9月4日
団体名	公益財団法人神戸いきいき勤労財団	所管局名	市民参画推進局

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【ミッション毎の評価】</p> <p>1 評価 B (上記評価の理由) 平成29年度は市から財団へのスムーズな事業移管を完了した。平成28年度までの事務の引継ぎだけでなく、新規サービスの開始により入会促進にも取り組んでいるが、目標に達しなかったため</p> <p>2 評価 A (上記評価の理由) 積極的な就業開拓及び会員確保に取り組んだ結果、契約件数、契約金額ともに目標に達している。</p> <p>3 評価 B (上記評価の理由) サービス向上への取り組みを継続し、利用満足度は高水準を維持している。一方、定例講座受講率と施設使用率は目標値を下回っており、今後も積極的な広報等が望まれる。</p> <p>4 評価 A (上記評価の理由) 資格取得支援講座開講数、就業支援セミナー開講数ともに目標値を達成したため。</p> <p>5 評価 A (上記評価の理由) 生涯いきいき情報センター、生きがい活動ステーションともに相談件数が目標値を達成したため。</p> <p>【総合評価の理由】 平成29年度においては、ミッション毎に設定された目標値を概ね達成している。 特に、生きがい活動ステーションの運営を通じた地域活動の支援等の取り組みは、目標値を大きく上回っており、高く評価できる。</p>	総合評価
		<p>S</p> <p style="text-align: center;">(A)</p> <p>B</p> <p>C</p>
<p>対応方法</p> <p>(総合評価がB又はCの場合は必ず記載)</p>	/	
評価担当者	男女活躍勤労課 勤労市民担当課長 山田卓二	